

# ETF バランス・ ファンド

## 【繰上償還 運用報告書 (全体版)】

(2023年8月29日から2024年2月2日まで)

第 **11** 期  
償還日 2024年2月2日

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年8月28日から2024年2月2日まで
運用方針	上場投資信託証券 (ETF) 等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託 (リート) 等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	上場投資信託証券 (ETF) 等
当ファンドの運用方法	<p>■主として、上場投資信託証券 (ETF) 等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託 (リート) 等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>■運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行います。</p> <p>■債券部分は、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。</p>
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>■年1回 (原則として毎年8月26日。休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、分配金額を決定します。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは上場投資信託証券 (ETF) 等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託 (リート) 等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに当期の運用状況等をご報告いたします。  
皆さまのご愛顧ありがとうございました。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## ETF バランス・ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		投資証券 信託組 託入率	純資産 総額	
		税金 配	込金 期騰落			率 中率
7 期(2020年 8 月 26 日)	円 11,798		円 0	% 2.7	% 98.5	百万円 850
8 期(2021年 8 月 26 日)	12,415		0	5.2	96.1	800
9 期(2022年 8 月 26 日)	10,592		0	△14.7	96.2	739
10 期(2023年 8 月 28 日)	10,070		0	△4.9	98.7	769
(償還日) 11 期(2024年 2 月 2 日)	(償還価額) 10,529.83		0	4.6	—	591

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

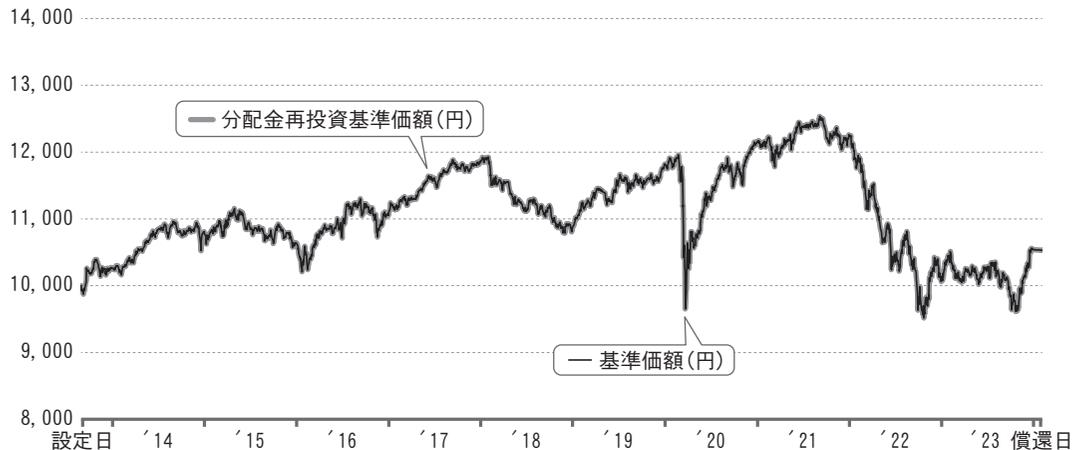
### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	標準価額		投資証券 信託組 託入率	
		騰	落		率
(期首) 2023年 8 月 28 日	円 10,070			% —	% 98.7
8 月末	10,191			1.2	98.7
9 月末	9,857			△2.1	98.3
10 月末	9,668			△4.0	97.3
11 月末	10,266			1.9	96.3
12 月末	10,538			4.6	—
2024年 1 月末	10,530			4.6	—
(償還日) 2024年 2 月 2 日	(償還価額) 10,529.83			4.6	—

※騰落率は期首比です。

## 設定以来の運用状況(設定日(2013年8月28日)から償還日(2024年2月2日)まで)

### 設定以来の基準価額の推移



## 前期までの運用の概略(設定日(2013年8月28日)から第10期末(2023年8月28日)まで)

当ファンドは上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行っております。

債券部分は、米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、株式・リート部分は、原則として対円での為替ヘッジを行っておりません。

### 上昇要因

- ・先進国の株式が上昇基調で推移したこと
- ・保有債券から得られるクーポン収入

### 下落要因

- ・2022～2023年に世界の主要中央銀行が大幅利上げを実施し、先進国・新興国の金利が上昇(債券価格は下落)したこと

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年8月29日から2024年2月2日まで)

## 基準価額等の推移



期首	10,070円
償還日	10,529円83銭
騰落率	+4.6%

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年8月29日から2024年2月2日まで)

当ファンドは上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行っております。

債券部分は、米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、株式・リート部分は、原則として対円での為替ヘッジを行っておりません。

### 上昇要因

- 先進国の株式・リートが上昇したこと
- 先進国・新興国の金利が低下(債券価格は上昇)したこと

## 投資環境について (2023年8月29日から2024年2月2日まで)

期を通じてみると、日本を含む主要先進国株式市場は上昇となった一方、新興国株式市場は概ね横ばいとなりました。内外の債券市場では、長期金利(10年国債利回り)は欧米で低下した一方、日本では概ね横ばいとなりました。また、新興国債券市場も概ね横ばいとなりました。グローバルリート市場は上昇しました。外国為替市場では、米ドル、ユーロなどの主要通貨や新興国通貨は、円に対して概ね横ばいとなりました。

## 株式市場

### ●先進国外国株式

先進国外国株式市場は、期を通じて上昇しました。

米国株式市場は、期初から10月にかけて、中国経済への不安や長期金利の一段の上昇、中東情勢の悪化などが嫌気され、株価は下落基調となりました。しかし、11月以降は、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げ終了観測や金利低下などを背景に株価は反転し、期末にかけて大きく上昇しました。

欧州株式市場も、期初から10月にかけては、欧米長期金利の一段の上昇や中東情勢の悪化などが嫌気され、株価は下落基調となりました。しかし、11月以降は、欧米金利の低下やインフレ鈍化によるECB(欧州中央銀行)の利上げ終了観測などを背景に株価は反転し、期末にかけて大きく上昇しました。

### ●国内株式

国内株式市場は、期を通じて上昇しました。

期初から10月にかけては、FRBによる金融引き締めが長期化するとの観測や中東情勢の不透明感などから、株価は軟調な動きとなりました。しかし、11月以降は、米国の追加利上げ観測が大きく後退し、世界的な株高基調となる中、海外投資家の買いにも支えられ、期末にかけて大きく上昇しました。

### ●新興国株式

新興国株式市場は、全般的に横ばいとなりましたが、地域によりまちまちの動きとなりました。期を通じて先進国株式市場が上昇する中、ブラジルやインド、台湾などが上昇する動きとなりました。一方、香港や中国では、低調な中国経済指標の発表が続いたことや、不動産市場への警戒感が高まったことから、期を通じて下落基調となりました。

---

## 債券市場

### ●先進国外国債券

米国の長期金利は、期を通じて低下しました。

期初より、堅調な景気を背景にFRBの引き締め姿勢の継続などから、金利は上昇基調で推移しました。しかし、11月以降、インフレの軟化などを受けてFRBの利上げ終了観測が強まったことや、12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の内容がハト派(景気を重視する立場)的と受け止められたことなどから、年末にかけて大きく金利は低下し、期末には期初の水準を下回りました。

欧州の長期金利も、期を通じて低下しました。

期初より、ECBが利上げを継続したことや米金利上昇の影響などを受けて、金利は上昇基調となりました。しかし、11月以降、インフレの鈍化やECBの利上げ終了観測などを背景に、年末にかけて大きく金利は低下し、期末には期初の水準を下回りました。

### ●国内債券

日本の長期金利は、期を通じて概ね横ばいとなりました。

期初から10月にかけては、日銀の政策修正観測や欧米金利の上昇の影響などを受けて、金利は上昇を続けました。しかし、11月以降、欧米金利が大きく低下したことや、12月の決定会合で金融政策が据え置かれた

ことなどから、金利は低下に転じ、期末には期初の水準近辺まで低下しました。

### ●新興国債券

新興国債券市場は、期を通じて概ね横ばいとなりました。

期初から10月にかけては、主要中央銀行による利上げサイクルが進展する中、新興国においてもグローバルな金利上昇に追随する動きが見られました。しかし、11月以降は、先進国で金利が低下に転じる中、新興国でもインフレのピークアウトや利下げの前倒しが意識され、金利は大きく低下する展開となりました。

---

## リート市場

### ●グローバルリート

グローバルリート市場は、期を通じて上昇しました。

期初から10月にかけては、中国不動産セクターの不振を発端に同国経済に対する不透明感から世界経済への影響が懸念されたことや、米国の長期金利が一段と上昇したことが波及して下落しました。しかし、その後は、米国の利上げ終了観測から、長期金利が大きく低下したことを好材料に反転上昇しました。

## 為替市場

### ●米ドル・円

米ドル・円は、期を通じて概ね横ばいとなりました。

期初より、米国景気が底堅く推移する中、FRBが金融引き締め姿勢を継続した一方で、日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、米ドル高・円安が進行しました。11月以降は、FRBの利上げ終了観測の高まりなどを背景に、年末にかけて米ドル安・円高が進行し、期末には期初と概ね同水準となりました。

### ●ユーロ・円

ユーロ・円は、期を通じて概ね横ばいとなりました。

期初より、ECBの利上げが進展した一方で、日銀は緩和的な金融政策を維持したことから、ユーロ高・円安が進行しました。11月以降は、ECBの利上げ終了観測の高まりなどを背景に、年末にかけてユーロ安・円高が進行し、期末には期初と概ね同水準となりました。

### ●新興国通貨

新興国通貨は、円に対してまちまちの動きとなりましたが、全般的には横ばいとなりました。期初より、日銀の緩和姿勢の維持が円の下落要因となりましたが、11月以降は、グローバルな金利低下が円高圧力となり、新興国通貨は円に対して概ね下落しましたが、期末には期初と概ね同水準となりました。

## ポートフォリオについて(2023年8月29日から2024年2月2日まで)

期を通じた資産配分方針の変更は、以下の通りです。

期初は、市場が株式に対して強気局面にあるとの判断から、債券の組入比率を70%、株式・リートの組入比率を30%とする資産配分としました。

市場のリスク嗜好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は、米国の金融引き締めの長期化観測や国債需給の悪化を背景とした、米長期金利の上昇が株式市場の重石となったことで、下落しました。そのため

2023年10月に、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率20%とする中立的な資産配分へ変更しました。その後も、リスク態度指数は低位での推移を継続したため、11月には市場が株式に対して弱気局面にあるとの判断から、債券の組入比率を90%、株式・リートの組入比率10%とする資産配分へ変更しました。

ただし繰上償還の決定後は、組入資産を売却し安定運用に移行しました。

#### ベンチマークとの差異について (2023年8月29日から2024年2月2日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

#### 分配金について (2023年8月29日から2024年2月2日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

#### 約款変更について

該当事項はございません。

## ETF バランス・ファンド

### 1 万口当たりの費用明細 (2023年 8 月 29 日から 2024 年 2 月 2 日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>28円</b>	<b>0.275%</b>	<b>信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (経過日数 / 年日数)</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は 10,150円 です。</span>
(投 信 会 社)	(13)	(0.133)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.128)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>9</b>	<b>0.093</b>	<b>売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(9)	(0.093)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>0</b>	<b>0.001</b>	<b>有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(-)	(-)	
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>3</b>	<b>0.028</b>	<b>その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数</b>
(保 管 費 用)	(3)	(0.026)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(-)	(-)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	そ の 他: 信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>40</b>	<b>0.397</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

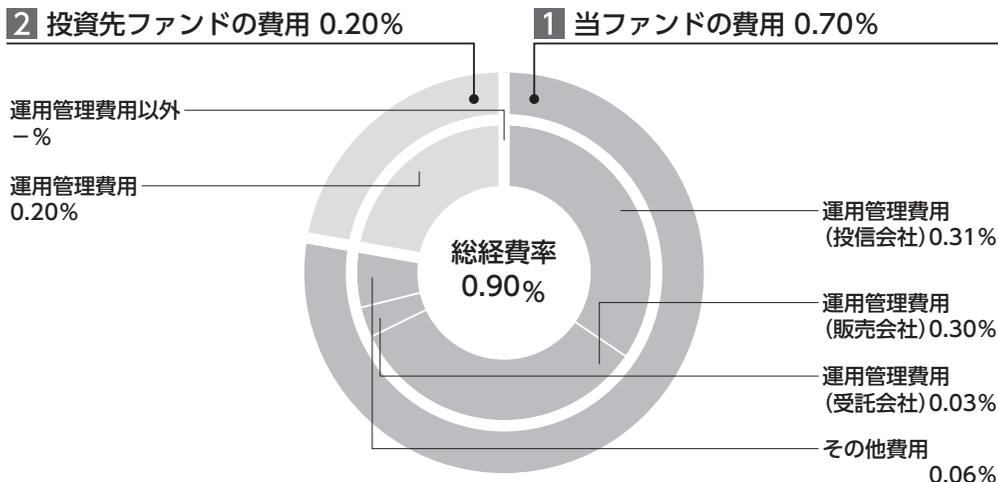
※比率欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	0.90%
<b>1</b> 当ファンドの費用の比率	0.70%
<b>2</b> 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	-%

※**1**の各費用は、前掲「1 万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第 2 位未満を四捨五入)です。「1 万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.90%です。

## E T F バランス・ファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年8月29日から2024年2月2日まで)

#### 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	NEXT FUNDS TOPIX運動型上場投信	□ —	千円 —	□ 23,580	千円 57,747
外 国	アメリカ	□ 2,430	千アメリカ・ドル 229	□ 12,005	千アメリカ・ドル 1,183
	iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	6,100	232	29,675	1,216
	iシェアーズ 世界国債(除く米国) ETF	—	—	4,230	398
	iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	5,295	440	26,835	2,377
	iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	—	—	9,750	195
	iシェアーズ 先進国(除く米国) 不動産 ETF	—	—	9,520	382
	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	—	—	2,340	189
	バンガード・リアル エステイト ETF	—	—	—	—

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2023年8月29日から2024年2月2日まで)

#### (1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
投 資 信 託 証 券	百万円 134	百万円 —	% —	百万円 906	百万円 0	% 0.1

#### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	666千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	0千円
(c) ( b ) / ( a )	0.1%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、S M B C 日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年8月29日から2024年2月2日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## E T F バランス・ファンド

### ■ 組入れ資産の明細 (2024年2月2日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組入比率
NEXT FUNDS TOPIX 連動型 上場 投信	口 23,580	口 -	千円 -	% -
合 計	23,580	-	-	-

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末			組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	9,575	-	-	-	-
iシェアーズ 世界国債(除く米国)ETF	23,575	-	-	-	-
iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	4,230	-	-	-	-
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマーゼィング・マーケット債券ETF	21,540	-	-	-	-
iシェアーズ 先進国(除く米国)不動産ETF	9,750	-	-	-	-
バンガード・FTSE・エマーゼィング・マーケットETF	9,520	-	-	-	-
バンガード・リアル エステイト ETF	2,340	-	-	-	-
合 計	80,530	-	-	-	-

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

### ■ 投資信託財産の構成

(2024年2月2日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 595,575	%
投 資 信 託 財 産 総 額	595,575	100.0

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2024年2月2日現在)

項 目	償還時
(A) 資 産	595,575,672円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	595,574,916
未 収 利 息	756
(B) 負 債	4,187,699
未 払 解 約 金	2,180,514
未 払 信 託 報 酬	1,995,040
そ の 他 未 払 費 用	12,145
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	591,387,973
元 本	561,631,251
償 還 差 損 益 金	29,756,722
(D) 受 益 権 総 口 数	561,631,251口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 ( C / D )	10,529円83銭

※当期における期首元本額764,511,877円、期中追加設定元本額62,025,509円、期中一部解約元本額264,906,135円です。

※上記表中の償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年8月29日 至2024年2月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,671,793円
受 取 配 当 金	6,645,997
受 取 利 息	52,184
支 払 利 息	△ 26,388
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	21,051,880
売 買 益	84,418,892
売 買 損	△ 63,367,012
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,195,694
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	25,527,979
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 63,126,239
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	67,354,982
( 配 当 等 相 当 額 )	( 125,148,781)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 57,793,799)
(G) 合 計 ( D + E + F )	29,756,722
償 還 差 損 益 金 ( G )	29,756,722

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年2月2日		資産総額	595,575,672円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	4,187,699円
				純資産総額	591,387,973円
受益権口数	30,000,000口	561,631,251口	531,631,251口	受益権口数	561,631,251口
元本額	30,000,000円	561,631,251円	531,631,251円	1万口当たり償還金	10,529円83銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	254,809,566円	277,918,208円	10,907円	0円	0.00%
第2期	484,926,042	518,134,350	10,685	0	0.00
第3期	390,026,409	435,488,196	11,166	0	0.00
第4期	523,104,367	616,335,312	11,782	0	0.00
第5期	870,662,366	974,031,588	11,187	0	0.00
第6期	850,191,404	976,586,579	11,487	0	0.00
第7期	721,118,857	850,767,008	11,798	0	0.00
第8期	644,412,495	800,024,319	12,415	0	0.00
第9期	698,506,806	739,857,934	10,592	0	0.00
第10期	764,511,877	769,843,985	10,070	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

ファンド名	i シェアーズ・コア 米国総合債券市場 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	ブルームバーグ・米国総合債券インデックス
管理費用	年0.03%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

## ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年12月31日）

	銘 柄 名 称	組 入 比 率
1	BLACKROCK CASH CL INST SL AGENCY	4.4%
2	TREASURY NOTE	0.7%
3	TREASURY NOTE (20LD)	0.5%
4	TREASURY NOTE	0.5%
5	TREASURY NOTE	0.5%
6	TREASURY NOTE	0.5%
7	FNMA 30YR UMBS	0.5%
8	UMBS 30YR TBA(REG A)	0.5%
9	TREASURY BOND	0.5%
10	TREASURY NOTE	0.4%
全銘柄数		10,567銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

## ■ 費用明細（2022年3月1日から2023年2月28日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.03%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ 世界国債（除く米国）E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	F T S E 世界先進国債キャップ・セレクト・インデックス
管理費用	年0.35%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年9月30日）

	銘 柄 名	比 率
1	DENMARK (KINGDOM OF)	1.0%
2	NORWAY KINGDOM OF (GOVERNMENT)	0.7%
3	SWEDEN (KINGDOM OF) RegS	0.6%
4	IRELAND (REPUBLIC OF)	0.6%
5	SWEDEN (KINGDOM OF)	0.5%
6	FINLAND (REPUBLIC OF)	0.5%
7	DENMARK (KINGDOM OF)	0.5%
8	SWEDEN (KINGDOM OF)	0.5%
9	ISRAEL (STATE OF)	0.4%
10	DENMARK (KINGDOM OF)	0.4%
	全銘柄数	755銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2021年11月1日から2022年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.35%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス
管理費用	年0.39%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年9月30日）

	銘 柄 名	比 率
1	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.9%
2	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	0.8%
3	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	0.7%
4	QATAR (STATE OF) RegS	0.6%
5	ECUADOR REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	0.6%
6	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
7	BRAZIL FEDERATIVE REPUBLIC OF (GO)	0.5%
8	KAZAKHSTAN (REPUBLIC OF) MTN RegS	0.5%
9	PETRONAS CAPITAL LTD MTN RegS	0.5%
10	SAUDI ARABIA (KINGDOM OF) MTN RegS	0.5%
	全銘柄数	573銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2021年11月1日から2022年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信
形態	国内籍投資信託（円建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	T O P I X（東証株価指数）
管理費用	年0.0968%以内（税抜年0.088%以内） ※上記の信託報酬率と信託財産に属する株式の貸付にかかる品貸料の一部の合計が運用管理費用（信託報酬）となります。
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年7月10日）

	銘 柄 名	組入比率
1	トヨタ自動車	3.9%
2	ソニーグループ	2.8%
3	キーエンス	1.8%
4	日本電信電話	1.7%
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.7%
6	任天堂	1.3%
7	ソフトバンクグループ	1.3%
8	日立製作所	1.3%
9	KDDI	1.2%
10	武田薬品工業	1.2%
	全銘柄数	2,170銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

※基準日は2022年7月10日です。

### ■ 損益及び剰余金計算書

項 目	第21期 (2021年7月11日～2022年7月10日)
	金額（円）
営業収益	
受取配当金	381,415,184,202
受取利息	283,540
有価証券売買等損益	△ 218,685,450,132
派生商品取引等損益	△ 5,010,091,341
その他収益	10,483,021,073
営業収益合計	168,202,947,342
営業費用	
支払利息	△ 436,110,751
受託者報酬	3,202,255,134
委託者報酬	8,579,957,303
その他費用	3,322,270,879
営業費用合計	14,668,372,565
営業利益又は営業損失（△）	153,534,574,777
経常利益又は経常損失（△）	153,534,574,777
当期純利益又は当期純損失（△）	153,534,574,777
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）	—
期首剰余金又は期首欠損金（△）	5,711,462,017,341
剰余金増加額又は欠損金減少額	306,704,680,522
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	306,704,680,522
剰余金減少額又は欠損金増加額	132,692,318,110
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	132,692,318,110
分配金	377,376,328,035
期末剰余金又は期末欠損金（△）	5,661,632,626,495

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ M S C I コクサイ E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	M S C I コクサイ・インデックス
管理費用	年0.25%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年6月30日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	APPLE INC	4.82%
2	MICROSOFT CORP	3.95%
3	AMAZON COM INC	2.10%
4	ALPHABET INC CLASS A	1.42%
5	ALPHABET INC CLASS C	1.34%
6	TESLA INC	1.28%
7	UNITEDHEALTH GROUP INC	1.04%
8	JOHNSON & JOHNSON	1.01%
9	NVIDIA CORP	0.82%
10	META PLATFORMS INC CLASS A	0.80%
	銘柄数	1,279銘柄

※比率は純資産総額に対する割合

### ■ 費用明細（2021年8月1日から2022年7月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.26%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	バンガード・F T S E ・エマージング・マーケッツ E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	F T S E エマージング・マーケッツ・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
管理費用	年0.08%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年9月30日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	5.1%
2	Tencent Holdings Ltd.	3.3%
3	Alibaba Group Holding Ltd.	2.4%
4	Reliance Industries Ltd.	1.6%
5	Meituan	1.4%
6	Infosys Ltd.	1.0%
7	JD.com Inc.	1.0%
8	China Construction Bank Corp.	0.9%
9	Petroleo Brasileiro SA	0.9%
10	Vale SA	0.8%
	全銘柄数	5,574銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

### ■ 費用明細（2021年11月1日から2022年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.08%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## E T F バランス・ファンド

ファンド名	バンガード・リアル エステイト E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	M S C I U S 投資市場不動産25／50インデックス
管理費用	年0.12%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2022年12月31日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	Vanguard Real Estate II Index Fund	12.1%
2	Prologis Inc.	7.4%
3	American Tower Corp.	7.0%
4	Equinix Inc.	4.2%
5	Crown Castle Inc.	4.2%
6	Public Storage	3.1%
7	Realty Income Corp.	2.8%
8	Simon Property Group Inc.	2.6%
9	SBA Communications Corp.	2.1%
10	Welltower Inc.	2.1%
全銘柄数		167銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

### ■ 費用明細（2022年2月1日から2023年1月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## ETF バランス・ファンド

ファンド名	iシェアーズ 先進国（除く米国）不動産 ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	FTSE EPRA/NAREIT 先進国（除く米国）不動産インデックス
管理費用	年0.48%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2023年3月31日）

	銘	柄	名	組入比率
1	SUN HUNG KAI PROPERTIES LTD			3.4%
2	三井不動産			2.9%
3	LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST			2.8%
4	VONOVIA SE			2.3%
5	三菱地所			2.2%
6	CK ASSET HOLDINGS LTD			2.0%
7	SEGRO REIT PLC			1.9%
8	積水ハウス			1.9%
9	SCENTRE GROUP			1.6%
10	WHARF REAL ESTATE INVESTMENT COMPA			1.5%
全銘柄数				269銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2022年5月1日から2023年4月30日まで）

項	目	比	率
エクスペンスレシオ		0.48%	

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

- ・ブルームバーグ・米国総合債券インデックスはBloomberg、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト・インデックス、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスおよびFTSE EPRA/NAREIT先進国（除く米国）不動産インデックスはFTSEインターナショナル・リミテッド、J.P.モルガンEMBIグローバル・コア・インデックスはJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシー、TOPIX（東証株価指数）は株式会社J.P.X.総研、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCI US投資市場不動産25/50インデックスはMSCI Inc.が、それぞれ公表している指数です。
- ・各インデックスに関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は、指数を公表および許諾する各社に帰属します。また、当該各社は当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。